

行動援護従業者養成研修（令和4年7月17日開講富雄教室クラス）

区分	日時	科目	目的	内容	時間数		
講義 10時間	7月17日(日)	9:00～ 9:30	開講式	正しく学習するために 受講の流れを理解する		0.5	
		9:30～ 15:00 (休 憩時間30分を 含む)	強度行動障害に 関する制度及び 支援技術の基礎 的な知識に関する 講義	強度行動障害をめぐる 制度について理解する。 障害特性を理解した適切な 支援についての基本的な知識、 PDCA(構造化、記録と再計画)、 支援手順書について理解する。	強度行動障害と制度 構造化 支援の基本的な 枠組みと記録 虐待防止と身体拘束 実践報告	5	
	7月17日(日)	15:00～ 18:00	強度行動障害の ある者へのチーム 支援	チーム支援についての 理解を深める。	強度行動障害支援 の原則	3	
	7月24日(日)	9:00～ 10:30	強度行動障害が ある者の基本理解 に関する講義	強度行動障害について理解し、 医療との連携について学ぶ	強度行動障害とは 強度行動障害と医療	1.5	
		10:30～ 11:00	強度行動障害と 生活の組み立て	生活の様々な場面での 支援について学ぶ	行動障害のある人の 生活と支援の実際	0.5	
		11:00～12:00	基本的な情報収集 と記録等の共有	強度行動障害者支援の重要性の 理解と固有の障害特性に 関する知識を深める。 行動の背景を考える。	情報収集とチーム プレイの基本	1	
	12:30～15:30	行動障害がある者 の固有の コミュニケーション の理解	固有の コミュニケーション		3		
	15:30～ 17:00	行動障害の背景に ある特性の理解	行動障害の背景に あるもの		1.5		
	演習 14時間	7月31日(日)	9:00～ 12:00	障害特性の理解と アセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に配慮した 支援計画の立案 ・支援の手順書の作成、 支援者への適切な伝達 ・記録の方法 ・支援の手順書の修正 等について実際の 演習を通じて学ぶ 	障害特性の アセスメント	3
			12:30～ 15:30	環境調整による 強度行動障害の支 援		構造化の 考え方と方法	3
15:30～17:00			記録に基づく支援 の評価	記録の収集と分析		1.5	
17:00～18:00			危機対応と 虐待防止	危機対応と虐待防止について 理解を深める		危機対応と虐待防止	1
18:00～			閉講式	研修を振り返り、 学習内容を再確認する		研修のまとめ・修了証 書授与	0.5